

森林造成モデル計画の専門家や四川省で活動している青年海外協力隊員らによるNGO「涼山会-月の城-」が支援している皇崗小学校の子どもたちと



四川省では「森林造成モデル計画」の現場を視察しました。この地域は森林伐採で山が荒廃し、洪水などの自然災害を引き起こすようになったため、中国政府は植林が重要と考え、豊富な植林の経験をもつ日本に協力を求めてきました。厳しい自然条件にもかかわらず、プロジェクトで植林した木は順調に成長していました。政府も「退耕還林」という農民の耕地を森に戻す政策を進めています。政府は耕地を失った農民に補償金を出していますが、農民が農耕以外の手段で自立できるかどうかは今後の課題だと思っています。

四川省では、日本のNGO「ジョイセフ」とJICAが連携して農村開発プロジェクトを行った三都県を訪れました。プロジェクトは、寄生虫予防薬の配布や小規模灌漑、ブドウ栽培の改良のほか、養豚を導入しその排泄物から得たバイオガスを家庭用燃料にする支援を行いました。私たちは農家の生活状況を見せてもらった。村の女性と車座になって話をし、「ブドウが高値で売れるようになって収入が3倍に増えた」「バイオガスのおかげで薪を取りにくい時間や労働が軽減された」「健康状態が良くなった」など多くの成果を聞くことができました。このようにプロジェクトが行われた村では成果が認められています。点の協力で終わってしまつてはインパクトが不十分です。貧しい農村は無数にあり、この点をいかに面に広げていくか中国側とともに考えていかなければなりません。

都市と地方の格差是正のために

北京では、日本の無償資金協力で建設された、技術協力で人材を養成しているリハビリテーションセンターを視察しました。ここには日本で修士号と理学療法士や作業療法士の資格を取得した帰国研修員が、病院での実地訓練を通して

中国の人材育成に貢献し、大きな成果をあげています。中国側の今後の課題は、ニーズが増大している地方都市でリハビリのサービスをいかに提供しているかということです。すなわち、今後いかに地方展開を行っていくか、北京のセンターが中心となって人材育成を支援していくことが期待されます。

また、理事長は、外交を統括する唐家璇・國務委員（副首相級）や除冠華・科学技術部長など要人と、「第11次5カ年計画」の中でJICAに支援を期待する分野について意見交換しました。まず環境保全、特に植林と自然環境保全と、大気・水質汚染など公害の防止があげられました。もう一つは省エネルギー。中国ではエネルギー効率の向上が課題であり、日本の省エネの経験・技術を学びたいとの期待が表明されました。これらの分野の協力は、今後も継続していく方針です。

理事長の考えは、日本の持つ経験・技術が中国の抱える問題の解決に必要とされるのであれば積極的に協力していく、それは中国のためだけでなく、日本、さらにはアジア、地球全体の安定化につながるというものです。

今後は、リハビリセンターなど北京での協力の成果をどう地方展開していくか、また、都市と地方の格差是正のために農村開発のような点の協力をどう面的に拡大していくかが重要です。特に、農村開発は地域によって条件が異なり、三都県での経験をそのままほかの地方に適用させるのは難しい。そういったことも踏まえて、地方案件の成果をいかに面的に拡大していくかが、中国側の課題だと思っています。

人々の暮らし、表情を直接見ることの大切さ

貴州省で少数民族の「水族」の女性たちと会ったとき、理事長は「彼女たちの顔は明るいですね」と話していました。中国の地方の貧しさは、生きるか死ぬかの瀬戸際に追い込まれた絶対的貧困ではなく、確かに生活は貧しいのですが、人生に希望を持ち得る程度

の貧困の状況は分かりません。現場に行って人々と話し、どんな生活をしているのか、どんな表情をしているのかを見て実感できるものでしょう。それが理事長のいう「現場主義」の基本であると思います。

わたしの視点

from JICA Leaders

内陸部の事業を視察

中国は「第10次5カ年計画」期間中（2001～05年）に年平均9・5%という高い経済成長率を示しましたが、その一方で三農問題に代表される沿海部と内陸部の経済格差の拡大、深刻な環境問題に直面しています。今年から開始される新しい国家計画「第11次5カ年計画」ではこのような歪みを是正する方針が打ち出されています。こうした状況の中で、今回の訪問は内陸部におけるJICA事業の現場視察によるこれまでの協力の成果の確認、および今後の方向性について中国側の要人との意見交換が目的でした。



(上)四川省森林造成モデル計画は、地域住民らの造林活動によって荒廃した山の再生を目指すプロジェクト。2,000～3,000メートルの植林現場を視察した緒方理事長は記念植樹を行った
(下)唐家璇・國務委員(右)との会談では、JICAの協力に対する高い評価と感謝の言葉が贈られた

JICAアジア第二部長

坂本 隆

Sakamoto Takashi

対中協力はアジア、地球全体の安定化に重要

今年3月、緒方理事長が中国を訪問。同行した坂本隆・アジア第二部長が視察の内容と成果を報告する。